

令和2年度 学校評価アンケート結果：保護者（平均）

愛媛県立みなら特別支援学校 学校評価委員会

No	領域	項目	評価項目	小学部	中学部	高等部	訪問教育	R2全体	R1全体
1	学習指導	教材・教具の充実	教員は、実物や写真、絵、図など視覚的に効果的な教材を活用して授業を行っている。	4.7	4.0	3.9	4.8	4.3	4.3
2			教員は、パソコンやデジタル機器を活用する知識を持ち、それらを授業で有効に活用して視覚的に分かりやすい授業を行っている。	4.6	3.8	3.7	4.8	4.1	4.2
3		各教科等を合わせた指導の充実	教員は、授業の工夫や言葉掛けにより、児童生徒が「できた。」と感ずることができ、魅力ある授業づくりを行っている。	4.7	4.1	3.9	4.9	4.3	4.2
4	児童生徒指導	基本的な生活習慣の確立	教員は、保護者と連携して児童生徒の発達の段階や障がいの程度に応じた基本的な生活習慣（挨拶、身だしなみ、言葉遣い等）を育成している。	4.7	4.0	4.1	4.7	4.3	4.3
5		学校生活の充実	教員は、集団構成や活動の場を工夫しながら、児童生徒一人一人の具体的な目標を明確にして、達成感をえられるように配慮している。	4.7	4.1	4.0	4.5	4.3	4.3
6	進路指導	進路指導の充実	教員は、児童生徒一人一人のニーズや保護者の願いに応じた進路支援に努めるとともに、合同説明会や施設事業所等見学、進路便りなどで、保護者への適切な情報提供を行っている。	4.6	3.9	4.0	4.5	4.2	4.3
7		キャリア教育の推進	教員は、児童生徒が授業やその他様々な教育活動において、自分の役割を果たすように支援をしたり、自ら考えて行動するような場面を増やしたりして、将来に向けた自立を促そうと努力している。	4.7	4.1	4.0	4.5	4.3	4.3
8	安全教育	学校安全教育の充実	教員は、防災学習や不審者対応教室、感染症等の予防に関する学習などを通して、児童生徒が、災害や事故、感染症等から自分の命を守る手段や方法を具体的に教え、もしものときに行動できる態度を育成している。	4.6	4.2	4.0	4.1	4.3	4.3
9		安全な教育環境の整備	教員は、児童生徒が安全かつ安心して学習活動に取り組める教育環境の整備や、感染症等の保健・衛生対応に努めている。	4.7	4.3	4.1	4.8	4.4	4.4
10	教育相談体制	人権・同和教育の充実	教員は、児童生徒に寄り添い、日頃から積極的に語り掛けたり、温かい目で観察したりすることで、児童生徒のわずかな変化やサインをキャッチしようとしている。	4.7	4.2	4.0	4.9	4.3	4.4
11			教員は、児童生徒がお互いを認めて尊重し合い、学校がいじめのない安心して生活できる場になるように努めている。	4.7	4.2	4.0	4.6	4.3	4.4
12		個別の教育支援計画の活用	担任は「個別の教育支援計画」を活用しながら、お子様の支援目標や支援の手立てについて、懇談や支援会議で分かりやすく説明や話し合いを行っている。	4.7	4.3	4.1	4.6	4.4	4.4
13		センター的機能の充実	担任や特別支援教育コーディネーター等は、お子様の生活や学習などについて相談しやすい。	4.6	4.1	4.1	4.8	4.3	4.3
14	改善業務	適切な勤務時間と職場環境の	本年度より、学校設置電話の対応は、7時45分～18時までを目安としているが、不都合はあまり感じない。	4.8	4.3	4.3	4.8	4.5	新規項目

令和2年度 保護者結果

